

# 焼津市における津波対策の取り組み

焼津市河川課 平成27年7月8日（水）

# 平成26年3月 津波防災地域づくり推進計画策定

全国初

## 焼津市津波防災地域づくり推進計画

平成 26 年 3 月  
焼 津 市

### 焼津市津波防災地域づくり推進計画 ～概要版～

人命・財産・生産活動を守るため、市民の生活の安定や地域経済の活性化など既存のまちづくりとの整合を図りつつ、大規模な地震・津波災害に対する防災・減災対策を効率的かつ効果的に実施し、地域の発展を懸望できる津波防災地域づくりを進進していよの指針として策定。

#### 1. 現状と課題

現状とこれまでの取り組み

2. 想定される地震・津波災害

- 想定される地震・津波災害
  - 想定される地震・津波災害
    - 想定される地震・津波災害

#### 3. 計画の基本方針

地震対策と津波対策に一体的に取り組むことにより市民生活の安全・安心を高め、また持続可能な地域を創出したまちづくりの可能性を考慮し、『焼津市全域』を推進計画区域とする。

#### 4. 焼津市に強いまちづくりに向けた基本的な考え方

基本方針 海を活かした地域活力と安全・安心な暮らしが共存するまちづくり

防ぐ・減らす	逃げる	守る	減らす
<ul style="list-style-type: none"> <li>●地震・津波から市民の生命、財産、産業活動を守るため、建物の耐震化やインフラ、津波対策施設等の整備を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●迅速かつ円滑に避難することができるよう、避難経路の整備や防災訓練等の様々なハード・ソフト施策を総合的に展開します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「日常の暮らし・産業活動」と「災害時の人命・財産の保護」との両立を目指し、長期的な視点で土地利用を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民が主体となった防災・減災対策の推進のため、「自衛」「互助」の取組みを市全体に広く浸透させ、地域全体の防災力の向上を図ります。</li> </ul>

#### 5. 施策

被害に強いまちづくりの推進のために行う事業又は事業

全庁的な取組み	ハード施設整備	円滑な避難確保のための施設整備	地域調査	民間活用促進
<ul style="list-style-type: none"> <li>●対策推進</li> <li>●防災対策推進事業</li> <li>●土地利用促進</li> <li>●自治体連携</li> <li>●避難経路サイン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海岸保全施設の整備</li> <li>●河川管理施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難経路整備</li> <li>●木造住宅関係</li> <li>●避難経路の整備</li> <li>●津波避難施設の整備</li> <li>●防災拠点施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地籍調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民間活用促進</li> <li>●防災拠点</li> <li>●防災拠点</li> </ul>

#### 6. 取り組み

推進計画の着実な計画・実施・検証・改善

- 津波被害リスクの共有と正しい防災知識の普及、防災教育の推進
- 焼津市の上位計画・まちづくり政策の方向性や新たな被害想定等の公表の状況、本推進計画に位置付けられた個々の施策の進捗や新規事業の推進の状況等を検証し、推進計画を継続的に改善

ハード・ソフトの施策を組み合わせた『多重防御』の対策を推進





## 津波避難タワーの整備

平成27年6月までに**21基**を設置済。

静岡県により焼津漁港内に4基 設置済



焼津東小学校

## 小中学校などの公共施設に 外付け階段等を整備

平成27年6月末までに**11基**を設置済。

平成27年度に**2基**設置予定。

手すり



太陽光発電式の照明灯



## 津波避難路の整備(浜当目地区)

山に駆け上がるための避難路を整備

手すりや、停電時にも対応できる太陽光発電式の照明灯をあわせて設置しました。



耐震強化岸壁の整備



津波救命艇を配備





RC3階建以上の建物所有者に一時避難受入を要請。

平成27年6月末現在 **315施設**



## 建物進入口への表示

津波発生時の避難先となる公共施設**55施設**に休日・夜間等の避難進入口に蓄光式シートを設置しました。



電柱に海拔表示

1,000箇所に海拔表示を実施



全自治会の津波避難計画(地図)  
作成支援

津波避難計画(地図)の作成支援。

各自治会の避難地図を全戸配布しました。



## 民間施設改修への補助

避難面積に応じた補助制度を創設。

平成27年6月末までに**5施設**に補助



## リヤカー購入補助

要配慮者の避難及び支援者の支援活動を容易にするため、各自主防災会にリヤカーの配備を呼びかけ、**130台**の追加配備を支援した。





静岡県第4次地震被害想定レベル1  
津波対策の施設整備による減災効果

## 討・事業実施の地震・津波対策

に全国に展開して「防津波津波防災地域づくり推進計画」を  
行われている主な地震・津波対策を紹介し、  
り地震・津波による浸水を限りなくゼロにし、レベル2の浸  
をもたらしませす。

**レベル1とは？**  
**レベル2とは？**

「レベル1の地震・津波」とは、  
静岡県がこれまで想定していた最大規模の地震として  
想定された地震規模により、発生確率が比較的高く、被害が甚  
重な場合を指します。

「レベル2の地震・津波」とは、  
静岡県がこれまで想定していた最大規模の地震として  
想定された地震規模のうち、発生確率が比較的低く、被害  
が比較的軽微な場合を指します。



## レベル2の地震・津波による浸水被害も大幅に軽減されます



- 市内各商店街に計11ヶ所避難所を整備
- H24 豊津西小学校
  - H25 新吉田町地区、高島田地区、  
高野田地区、西条地区、藤  
守地区、下小松地区の各3カ  
所ユニティセンター
  - H26 豊津西小学校、豊津小学校、西  
津保南小学校、小川公民館
  - H27 豊津南小学校(予定)、豊中  
小学校(予定)



### 「安心」と「浸水0」を目指して

約15.5kmの海岸線を守る事では、本市市街の「命を  
守る」こと、次に「財産を守る」こと、そして甚大な被害を  
軽減するための「資産守り」ことが重要課題です。  
市では、被害の軽減である防災・津波災害に強いまちづくり

を意図して、国や州と連携し、さらには市民の皆さんと  
ともに、ハード・ソフト両面のさまざまな取組によって、安心  
安全に暮らせるまちの実現を目指しています。

国や州と連携し、さらには市民の皆さんと  
ともに、ハード・ソフト両面のさまざまな取組によって、安心  
安全に暮らせるまちの実現を目指しています。

### 「緑の防潮堤」を国へ要請、さらなる減災を図ります

「緑の防潮堤」は、防波力・防風力に優れた防災効果  
に加え、景観も優れています。  
防潮堤が完成した後も、防波力・防風力を維持する  
ためのメンテナンスも必要です。防波力・防風力を維持  
するためのメンテナンスも必要です。

また、コンクリートで造成した防潮堤と違い、環境に  
優しく、自然にも馴染みやすいものとなります。  
「防波力・防風力を維持している防潮堤」は、日本では大井川  
に約7.3kmの防潮堤があり、「緑の防潮堤」の整備は、レ  
ベル2の防潮堤として防災効果が期待されます。また、さら  
な防波力・防風力に貢献し、防災効果も期待されています。



## 静岡大学大学院理学研究科・防災総合センターによる津波堆積物調査について

## ～津波堆積物見つからず～

津波堆積物とは…地層中に保存された過去の津波痕跡で、その分布調査や年代分析を行う事で、過去の津波による浸水範囲や発生時期を推定する事ができます。

静岡大学大学院理学研究科・防災総合センターせとがらまぞくの北村晃寿教授が平成26年9月に焼津市内で津波堆積物調査を実施し、市内9地点で古い年代の津波の痕跡を調査しました。

調査はボーリング機械で地面を掘削して行われ、深さ8～9メートルまでのコア（地質の柱状サンプル）を採取して分析した結果、どの地点からも津波堆積物は見つからず、調査地点では過去約3千年以内に巨大地震による浸水はなかった可能性が高い事が示されました。

静岡県第4次地震被害想定では津波による浸水が想定され、古文書でも1498年の明応地震などで市内が浸水たとされています。昨年度に引き続き、焼津市では平成27年度に北村教授と連携して津波堆積物を調査する事で、焼津市が過去に巨大地震による被害を実際に受けた事があるかをより詳しく調べ、市民の皆様へ地震・津波に関する情報をお知らせします。

調査日時、調査場所などの詳細については、決定次第お知らせします。

問合先 危機政策課 ☎625-0128

■平成26年9月に津波堆積物調査を実施した地点

No.	調査地点
1	若宮神社正面空地
2	中里会館
3	水田
4	阿弥陀寺
5	新屋公園
6	本町三丁目空地
7	貞善院駐車場
8	天王の杜公園
9	本町南公園







平成26年8月31日	総合防災訓練	参加者:51,752名
平成26年12月7日	地域防災訓練	参加者:49,526名
平成27年3月7,8日	津波避難訓練	参加者:44,144名

# 緑の防潮堤

○必要な土砂を確保



平成27年3月から受け入れを開始

○緑の防潮堤に使用する苗木



平成27年度 育苗施設の整備、  
苗木の育成を開始